

セーフティレポート 2018



株式会社舞浜リゾートライン

トップメッセージ

いつもディズニーリゾートラインをご利用いただき誠にありがとうございます。

2017年度は、これまでに引き続き、課題であったリスクアセスメントの取組みやマニュアル類の整備に注力し、安全目標の達成に繋げております。

また、2020年までの中期経営計画を策定し、「輸送の更なる安全の確保」を経営課題といたしました。

これまでの取組みのレベルアップを目指して、活動の評価・改善を計画的に推進し、P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）のサイクルを継続することで事故・重大なインシデントの防止により一層努めてまいります。

お陰さまで2017年度も多くの方にご乗車いただくことができました。

鉄道事業者として輸送の安全は生命であり、東京ディズニーリゾートの一員として安全を最優先することは経営の哲学です。

これからも東京ディズニーリゾートにお越しいただいたゲストのみなさまが、リゾートを訪れた最初の瞬間から笑顔になっていただき、リゾートを離れる最後まで夢を見続けていただけることを目指し取り組んでまいります。

引き続きご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

この「セーフティレポート2018」は、鉄道事業法第19条の4に基づく安全報告書として、2017年度における当社の安全に対する取組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために作成、公表いたしました。

ぜひお読みいただき、みなさまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

神永 元



目次

トップメッセージ	2
輸送の安全に関する基本的な考え方	4
輸送の安全を推進する社内の体制	5
輸送の安全への取組み	7
事故等の発生状況	11
みなさまからの声をかたちに	12
みなさまへお願い	14
お問い合わせ	16

輸送の安全に関する基本的な考え方

ディズニーリゾートラインでは、安全に関する基本的な方針として、「安全基本方針」を定めています。また、具体的な行動に結びつくように「行動規範」を定め、安全基本方針と共に全職場に掲出し、安全を最優先する安全意識の徹底を図るとともに、ゲストのみなさまへ安全・快適なサービスを提供できるよう、東京ディズニーリゾート全体とも連携を図っています。

安全基本方針

- 私たちは法令を遵守し、安全を最優先する企業文化を築きます。
- 私たちは安全を確保する能力を高め続けます。
- 私たちは安全を確保する体制・設備・手順を維持向上させます。

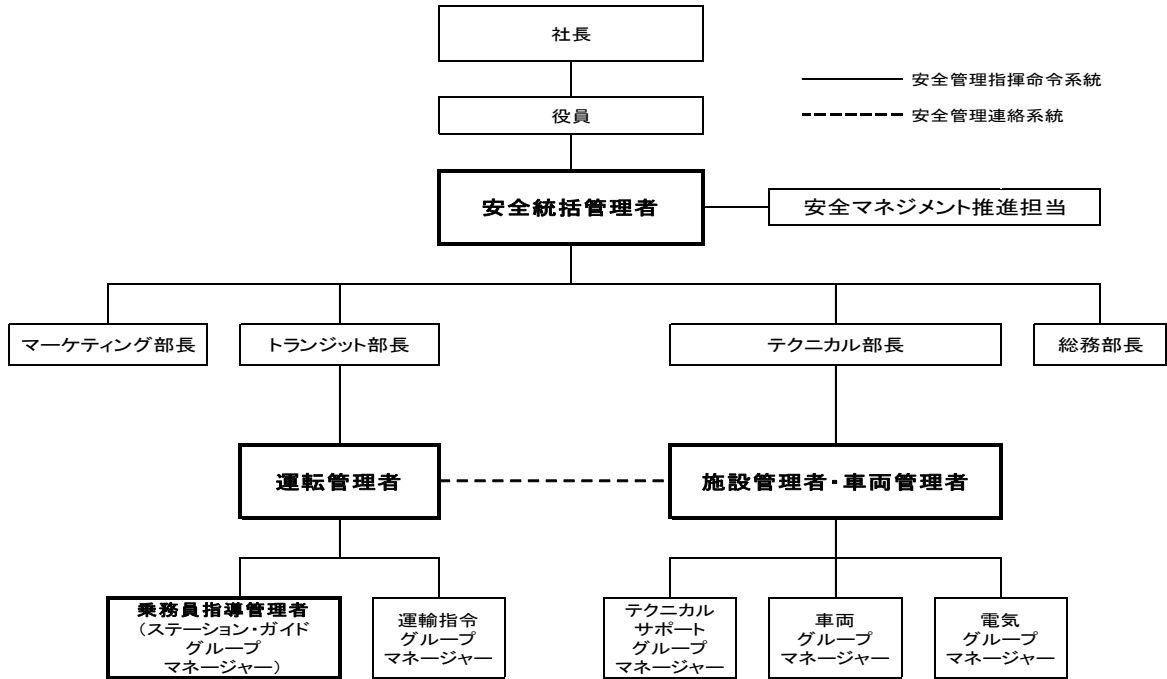
行動規範

1. 法令や規則を理解しこれを遵守する。
2. 幅広く収集したリスク情報に的確な処置を行い、事故の未然防止に努める。
3. 複数の事項を対処する場合は、安全に関わる事項を優先する。
4. 発生している状況を具体的に把握し、迅速かつ正確に報告する。
5. 異常・緊急時に判断に迷いがある場合は、最も安全と認める取扱いをする。
6. 事故や災害が発生した際は、人命救助を最優先する。
7. 安全をより高めるために必要な事項を改善し続ける。

輸送の安全を推進する社内の体制①

ディズニーリゾートラインでは、輸送の安全の確保のために社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を安全管理規程で定めています。

安全管理体制

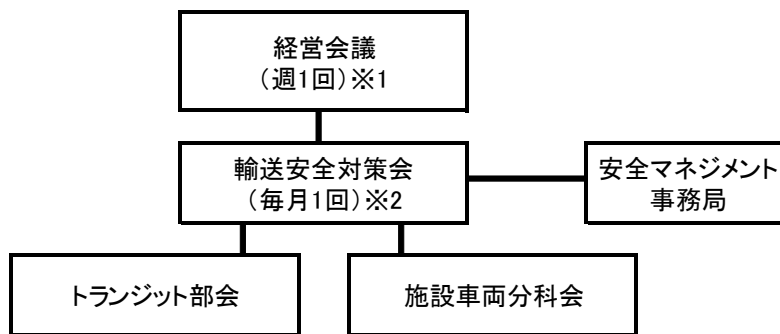


管理者	責務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者およびトランジット部長の指揮の下、列車の運行、乗務員の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

輸送の安全を推進する社内の体制②

ディズニーリゾートラインでは、輸送の安全を確保するため、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査も実施することにより、PDCAサイクル（輸送の安全に関する方針などの策定、実行、チェック、改善のサイクル）を確実に機能させ、社長以下全キャストが一丸となった安全管理体制の確立に努めています。

輸送の安全に関する会議（輸送安全対策会）の実施



※1 全常勤役員出席
※2 緊急性のある場合は都度開催

年間計画に基づき、毎月1回開催される「輸送安全対策会」では、自社や他社で発生した事故・トラブル等の報告、再発防止策の検討、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また、定期的実施する異常時総合訓練の計画案作成、実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、実施の都度、社長をはじめとする役員へ報告されます。

運輸安全マネジメント制度に係る内部監査の実施

2017年度は、各職場において異常発生時における対応手順のキャスト認知度についてのヒアリング・モニター監査するとともに経営層や安全統括管理者に対してインタビューを実施しました。今後もこの監査結果をもとにして継続的な業務の見直しを行うとともに、安全管理体制の維持向上を図っていきます。

輸送の安全への取組み①

社長以下全キャストが一丸となり、安全管理体制の強化を行うとともに、輸送の安全の確保に関する目標と必要な取組計画を、2017年度は以下の通りとしました。

安全目標

- 有責事故0件
- 不具合発生時ヒューマンエラーによる列車遅延20分以下

取組計画

- リスクの抽出および対策
 - ①新規リスクの抽出
 - ②2014年度抽出リスクレベル2の対応完了とリスクレベル3の対策着手
- 訓練の充実改善
 - ①訓練の充実改善検討
(地震対応、警察・消防機関合同、OLC関係部門合同、大規模停電、テロ対応、ブラインド方式、座学 等)
 - ②定常業務・異常時対策のマニュアル/規定に関するトレーニング体制づくりとチェック

このほか、定例的な活動にも継続して取り組んでおります。
今後もソフト・ハードの両面から安全・安定輸送にまい進します。

輸送の安全への取組み②

=====
 万一の場合に備えて、事故・トラブルや自然災害などさまざまな状況を想定した異常時対応訓練を定期的を実施しています。また、施設改善にも取り組みました。2017年度は以下の通り実施しました。

異常時対応訓練の実施内容

- 防火・防災訓練の実施（2017年7月、2018年1月・2月）
- 故障列車に救援列車を連結する訓練の実施（2017年9月）
- 地震発生後の対応訓練の実施（2017年9月）
- 初期消火訓練の実施（2017年10月）
- 夜間停電発生時の対応訓練の実施（2018年2月）



【防火訓練の様子】



【列車連結訓練の様子】



【夜間停電発生時の
対応訓練の様子】

安全のための投資

- 東京ディズニーシー・ステーションのホーム階段腰壁上部に手すりを設置
 (2017年7月)



【手すり設置前】



【手すり設置後】

輸送の安全への取組み③

安全運行を支えるシステム

ディズニーリゾートラインでは、ATOによるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高いATCを導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、ディズニーリゾートラインのドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にガイドキャストが乗務しています。ガイドキャストは、ゲストの皆さまのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらには異常時におけるゲストの避難誘導等に柔軟に対応出来るように訓練されています。

このほか、列車の運行を総合的に管理するTTC（Total Traffic Control system）の設置や、機器の状態が把握できる車両モニター装置の搭載等により安全確保に努めています。

● ATC（自動列車制御装置—Automatic Train Control）

前を走る列車との間隔やカーブなどの線路状態にもとづいた情報を、速度信号として地上側の装置から列車に設けた装置に送り、実際の速度と制限速度とを比較したうえで、超えている場合には自動的にブレーキを作動させ、制限速度以下まで減速させるか停止させるシステムです。

● ATO（自動列車運転装置—Automatic Train Operation）

ATCのバックアップのもと、列車の出発、走行、減速、定位置停止の列車操縦制御や、ホームドアとの連動制御などを自動的に行うシステムです。

輸送の安全への取組み④

安全運行を支えるキャスト

ディズニーリゾートラインの安全運行は、システムのみならずテクニカル部門とトランジット部門それぞれのキャストが互いに連携を取り、それぞれが役割を完遂することでも支えています。

キャストは、危険予知トレーニングや定期的実施する教育・訓練等によって迅速で的確な対応が取れるよう、意識づけられています。



事故等の発生状況

2017年度の事故の発生状況は、以下の通りです。

鉄道運転事故

鉄道運転事故とは、国土交通省の鉄道事故等報告規則（省令）に基づく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身傷害事故。鉄道物損事故をいいます。

- 鉄道運転事故は、ありませんでした。

輸送障害

輸送障害とは、省令に基づく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

- 輸送障害は、1件発生しました。

列車の機器トラブルによるものです。改善措置として、不具合のあった機器を新たなものと交換しました。

インシデント

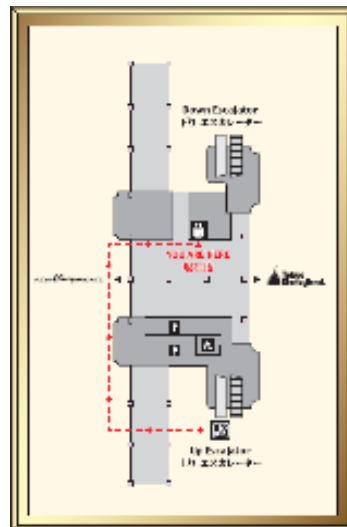
インシデントとは、省令に基づく、事故に至ってないが運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

- インシデントは、ありませんでした。

みなさまからの声をかたちに①

=====
 ゲストのみなさまが安心してご利用いただくために、みなさまからお寄せいただいたご意見を対策に反映させています。

- 駅のエレベーター乗り場には、車いすをご利用のゲストをはじめ、エレベーターを必要とされるゲストの方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。



- 車いすやベビーカーをご利用の方にも、モノレールの乗り降りがスムーズにできるよう、固定式スロープを全乗車口に設置しています。また、キャストのサービス介助士2級の資格取得を積極的に進めています。



みなさまからの声をかたちに②

- すべての駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。
また、キャストは適切にAEDを取り扱えるように普通救命講習を受講しており、定期的に取り扱い訓練も実施しています。



みなさまへお願い①

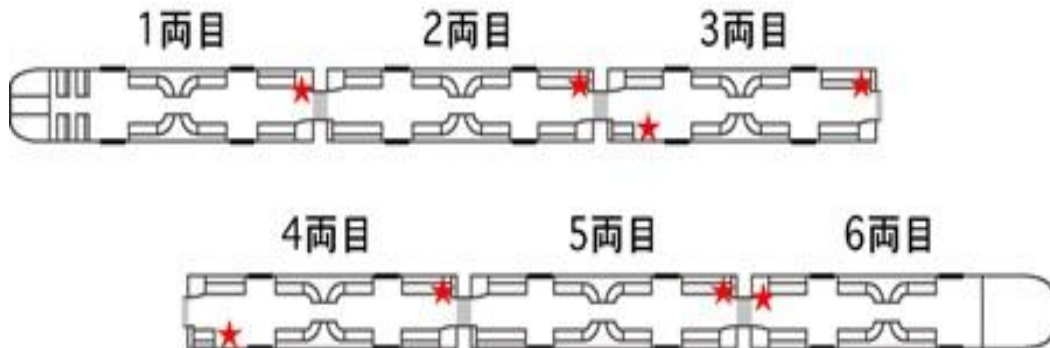
ディズニーリゾートラインをこれからも安全にご利用いただけるよう、みなさまのご協力をお願いします。

- 危険物等の持ち込みは固くお断りいたします。
- ペットをお連れの方は、必ずペットケージをご用意ください。
- ディズニーリゾートラインは、3分～13分間隔で運転を行っています。発車ベルが鳴ってからの駆け込み乗車は、思わぬケガのもととなります。次の列車をお待ちください。
- ホームドアに寄りかかったり、顔や手をホームドアの外に出さないでください。
- ホームと列車との間にはすき間があります。乗り降りの際は十分ご注意ください。特に、小さなお子様をお連れの方は、手をつないで乗り降りをしてください。
- 運転中やむを得ず急ブレーキがかかる場合があります。みなさまの安全のため、ご乗車中は座席にお座りになるか、お立ちの場合は近くの手すりやつり革におつかまりください。
- 緊急時、ただちに列車を止めなければならないときは、各駅のホームドア中央付近に設置してある「非常用ボタン」を押してください。



みなさまへお願い②

- ドアに手をついていると、ドアが開いた際に戸袋に手が引き込まれてしまうおそれがあります。ドア付近にお立ちの際はご注意ください。特に、小さなお子様をお連れの方は十分にご注意ください。
- エスカレーターをご利用の際は、安全のため、手すりにつかまり黄色い線の内側にお立ちください。また、荷物を落とさないようにしっかりとお持ちください。
- 各車両には、非常時の際にガイドキャストと通話ができる「非常通報装置」が設置されています。万一車内において急病人の発生や、不安全な行為等を認められた時は、何なりとお知らせください。



お問い合わせ

=====
セーフティレポートへのご意見やご感想、安全の取組みに関するご意見がございましたらご連絡ください。

株式会社舞浜リゾートライン

安全マネジメント推進

TEL：047-305-2407

(平日9：00～17：00)